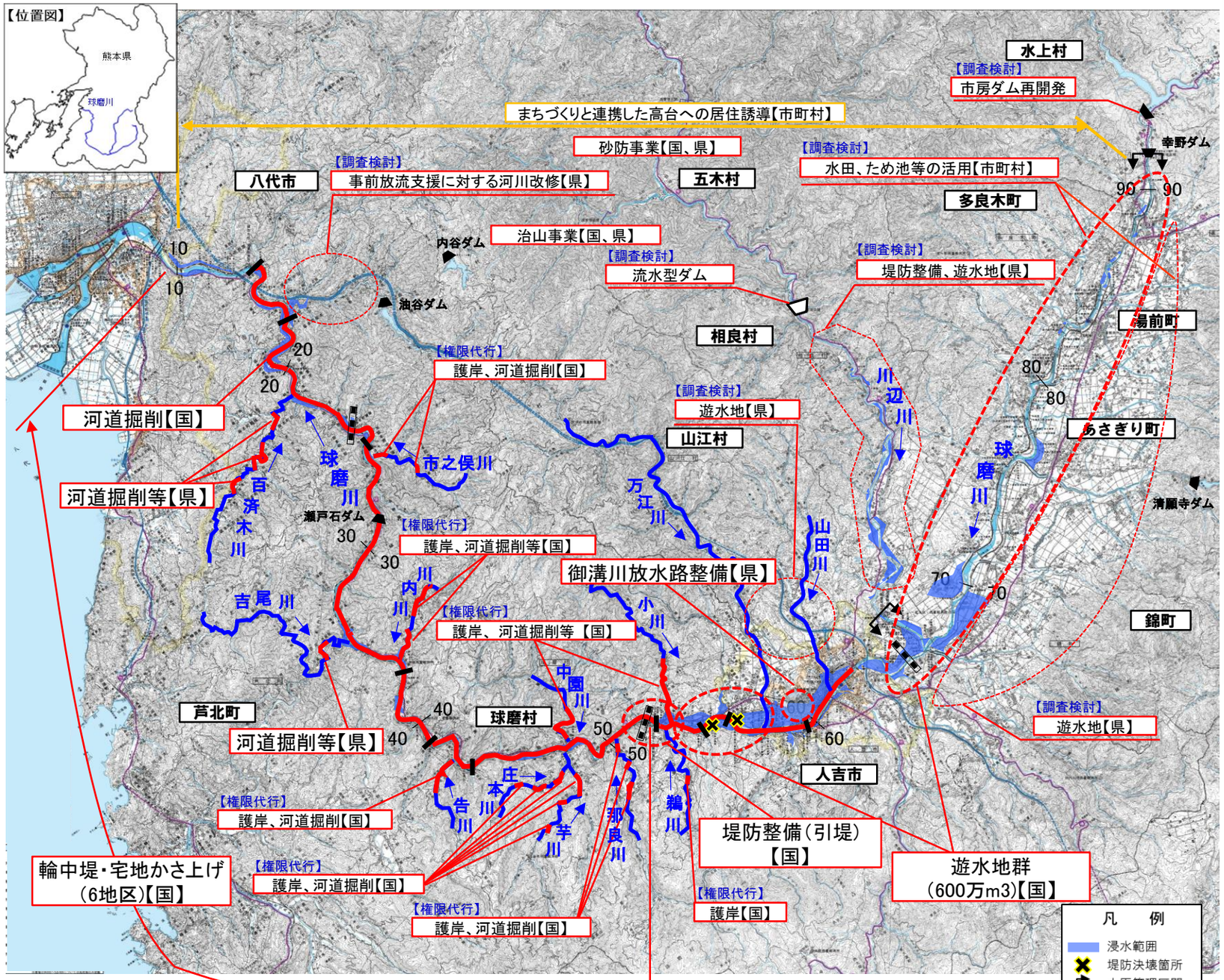
球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【令和８年９月末時点】

○ 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所で、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。　※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む



【ハード対策の進捗状況】　令和８年９月末時点

①河道掘削・河道拡幅
- これまでに約271万m3掘削完了
- そのうち、令和2年7月豪雨により堆積した土砂量（推定）約125万m3については令和4年1月末に掘削完了
- 更に令和8年9月末までに約146万m3を掘削、引き続き推進を図る

②輪中堤・宅地かさ上げ
- 地元協議中、詳細設計実施中、用地調査実施中
- 球磨村神瀬地区で宅地嵩上げ事業着工式を開催(R5.2.19)
- 芦北町で宅地嵩上げ事業着工式を開催(R5.8.26)
- 八代市坂本町で宅地嵩上げ・輪中堤事業着工式を開催(R5.9.10)

③引堤（延長約600m）
- 地元協議中、用地調査実施中
- 球磨村渡地区で引堤事業着工式を開催(R5.9.10)

④遊水地（調節容量約600万m3）
- 地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査実施中
- 相良村柳瀬地区で遊水地事業着工式を開催(R5.8.26)
- 球磨村渡地区で遊水地事業着工式を開催(R6.8.24)
- 人吉市中神地区で遊水地事業着工式を開催(R7.9.14)

○災害復旧（堤防決壊を含む）

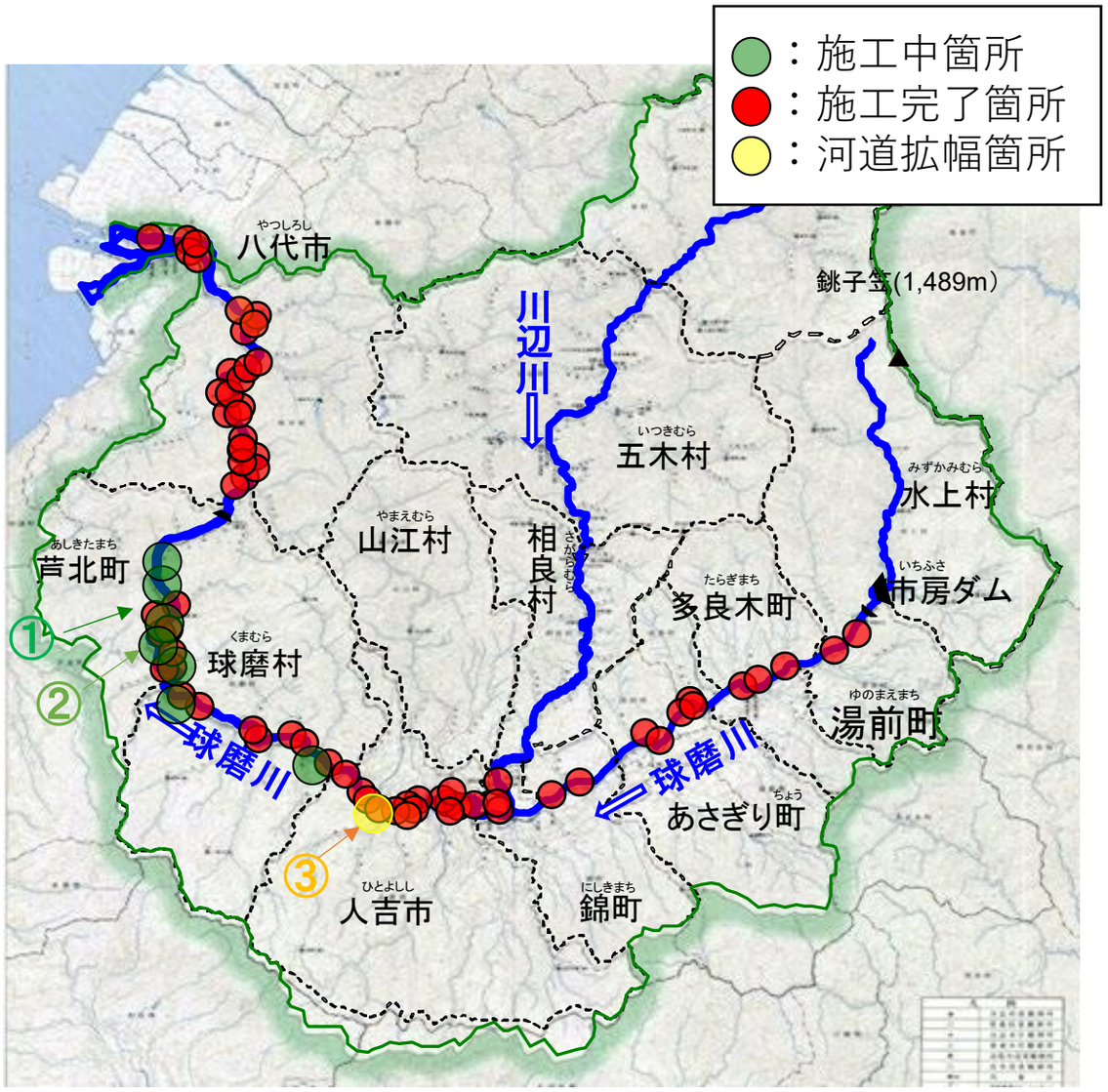
最近の動き

令和８年９月末時点
【宅地かさ上げ：芦北町白石地区】

令和８年９月末時点
【遊水地：人吉市中神地区】

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜河道掘削・河道拡幅＞

○球磨川河道内の掘削を行っており、これまでに合計約271万m³を掘削完了。そのうち、令和2年7月豪雨により堆積した土砂約125万m³を令和4年1月末に掘削完了。さらに令和8年9月末までに約146万m³を掘削完了。
○引き続き、河道掘削を推進していく。
○令和6年度より人吉地区の河道拡幅に向けた現地調査、設計を進めるとともに地元説明及び関係機関との協議に着手



【河道掘削】

【河道拡幅】人吉地区河道拡幅予定範囲

人吉地区地元説明（R8.3.23）
【人吉市小柿地区・下戸越地区】

河川利用や環境に配慮した河道掘削について

〇鮎漁等への影響に配慮した施工時期とするとともに舟下りやカヌー等の河川の利用にも配慮し、航路の維持や吃水深の確保等河川利用者の意見をふまえながら河道掘削を実施。
〇河道掘削に伴う濁水の発生を抑制するため、汚濁防止フェンスや沈砂池の設置等の濁水抑制対策を実施。

■河道利用にも配慮した河道掘削の実施

舟下りやラフティング、カヌー等での河川利用がある区間は、事前に河川利用者の意見を聴取し、掘削形状を検討したうえで河道掘削を実施。

河川利用者（球磨川くだり）
へのヒアリング状況

河川利用者（高校関係者）
掘削状況現地確認

《川開き祭り開催》
令和７年４月１９日開催

球磨川下りや地元の高校生のカヌーの試走を実施

■濁水発生を抑制するための対策

水中部や水際部は、工事に伴う濁水の発生を抑制するため、汚濁防止フェンスの設置や沈砂池を設置などの濁水を抑制するための対策を実施したうえで河道掘削を実施。

汚濁防止フェンスの設置状況

沈砂池設置状況

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜輪中堤・宅地かさ上げ＞

〇輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会等を令和３年３月から順次開催（３市町村　計３８８回開催　※令和８年９月末現在）。
〇事業説明会にて施工計画やスケジュール、宅地かさ上げ事業に係る補償について説明を実施。
〇八代市、球磨村、芦北町、全３１箇所で、輪中堤・宅地かさ上げ工事に着手し、うち１１箇所で工事が完了している。

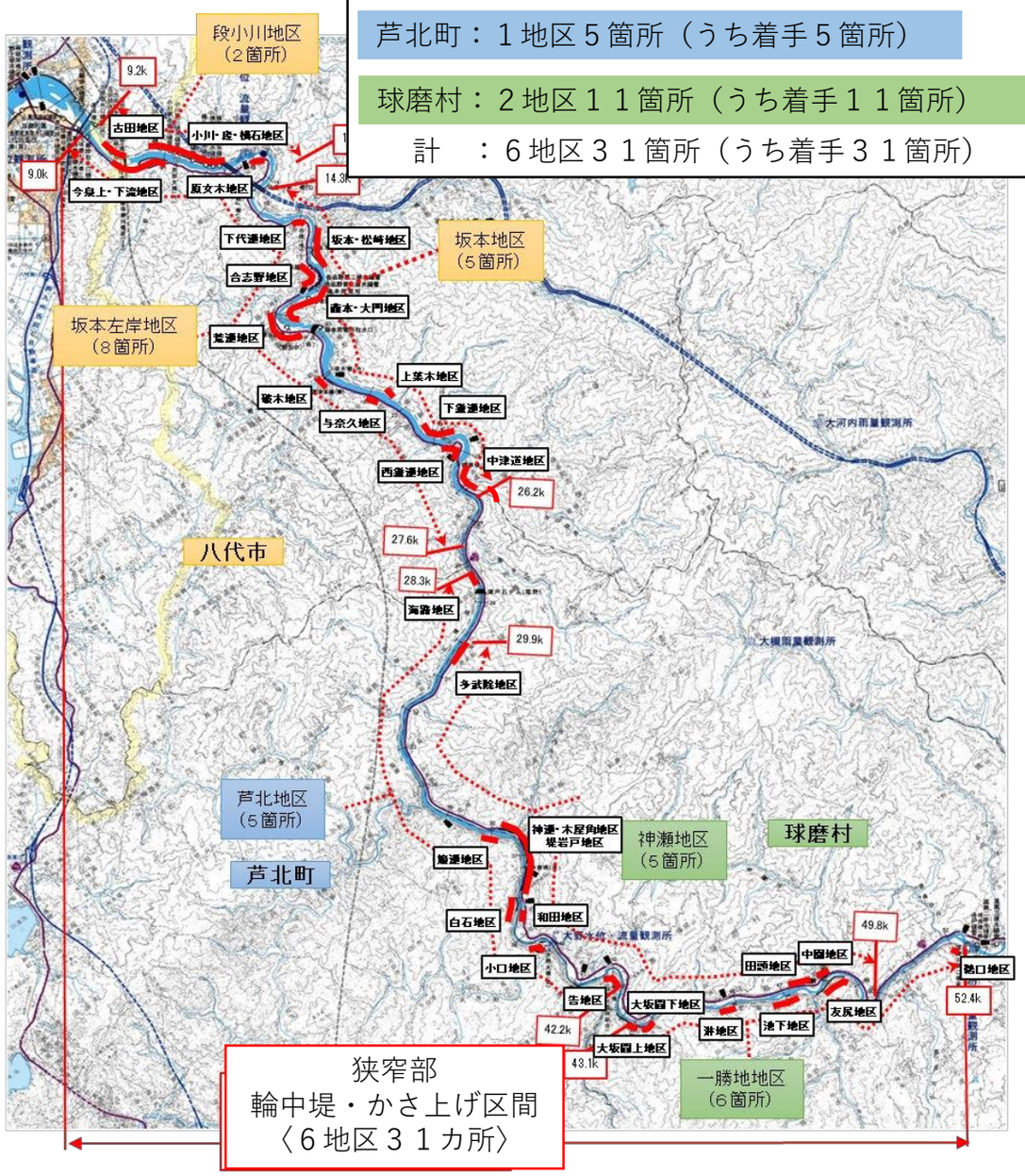
対象地区

八代市：３地区１５箇所（うち着手１５箇所）

芦北町：１地区５箇所（うち着手５箇所）

球磨村：２地区１１箇所（うち着手１１箇所）

計　：６地区３１箇所（うち着手３１箇所）



【八代市今泉地区】進捗状況

工事着手前　R6.8

施工中　R８.９末時点

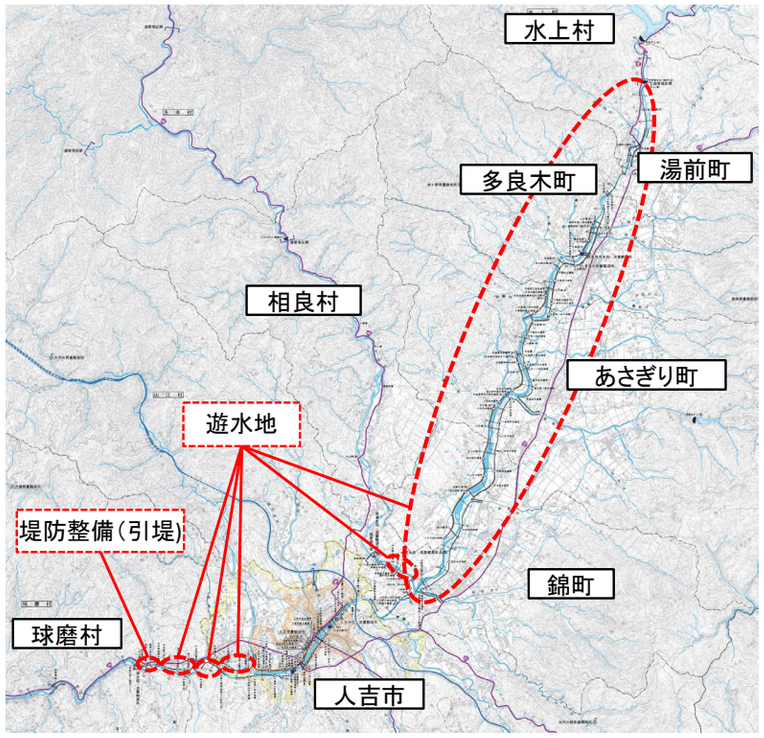
【芦北町告地区】進捗状況

工事着手前　R.６９

完成　R８.９末時点

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜引堤・遊水地＞

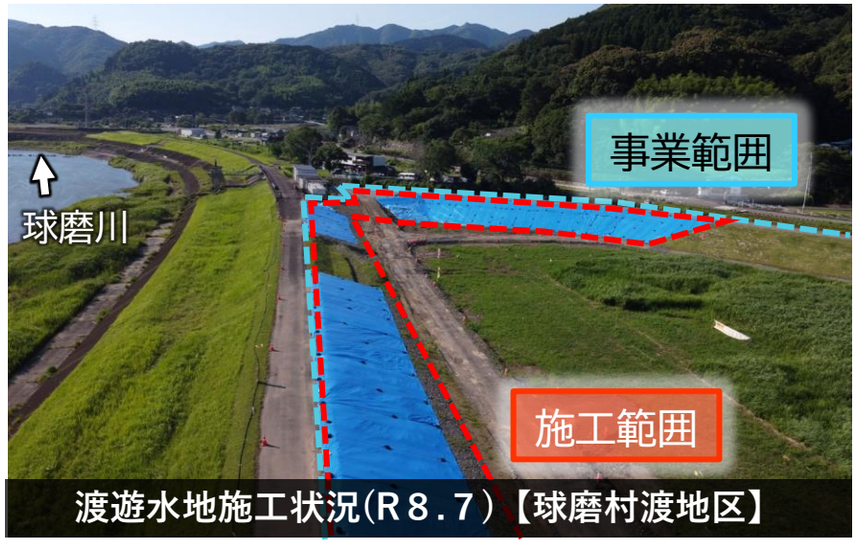
〇令和３年２月より順次、引堤・遊水地の候補地で説明会等を開催（計４８回開催　※令和８年９月末現在）
〇令和３年４月より順次、現地調査（測量等）、用地調査・協議を実施中
〇令和５年度より、相良村柳瀬地区において遊水地工事、球磨村渡地区において引堤工事に着手
〇令和６年８月より、球磨村渡地区において、遊水地工事に着手
〇令和７年９月より、人吉市中神地区において、遊水地工事に着手



■工事実施状況

渡地区引堤工事施工状況(R7.7)【球磨村渡地区】

柳瀬遊水地施工状況(R８.７)【相良村柳瀬地区】



渡遊水地施工状況(R８.７)【球磨村渡地区】

中神遊水地施工状況(R８.９)【人吉市中神地区】

＜用地調査・協議中＞

- 相良村柳瀬地区（遊水地）
- 球磨村渡地区　（遊水地、引堤）
- 人吉市大柿地区（遊水地）
- 人吉市中神地区（遊水地）
- 錦町柳詰地区　（遊水地）

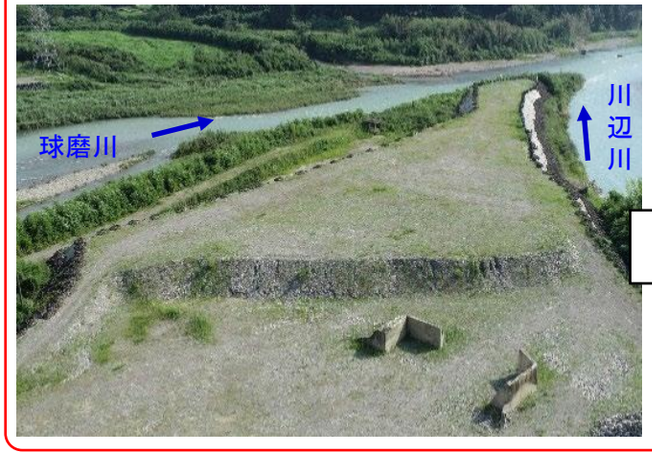
＜工事実施中＞

- 相良村柳瀬地区（遊水地）
- 球磨村渡地区　（引堤）
- 球磨村渡地区　（遊水地）
- 人吉市中神地区（遊水地）

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜掘削土砂の有効活用＞

〇球磨川で掘削した土砂について、築堤材料のほか、宅地かさ上げや自治体と連携した観光・生活基盤等まちづくりへの活用も図るなど、地域の復旧・復興に寄与する河川事業を展開していく。
〇活用例としては、ふるい分けした掘削土砂を球磨村神瀬地区をはじめ宅地かさ上げの盛土に活用している。

仮置き土砂搬出状況



ふるい分け状況

神瀬地区の施工状況

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】
～防災活動の着実な実施・連携体制の構築～

〇球磨川では、令和2年7月豪雨を受け、流域タイムラインの作成を行った。以降、「球磨川流域タイムライン（深化）検討会」を設置し、流域タイムラインの再確認に加え、毎年の豪雨の振り返り等を行っている。

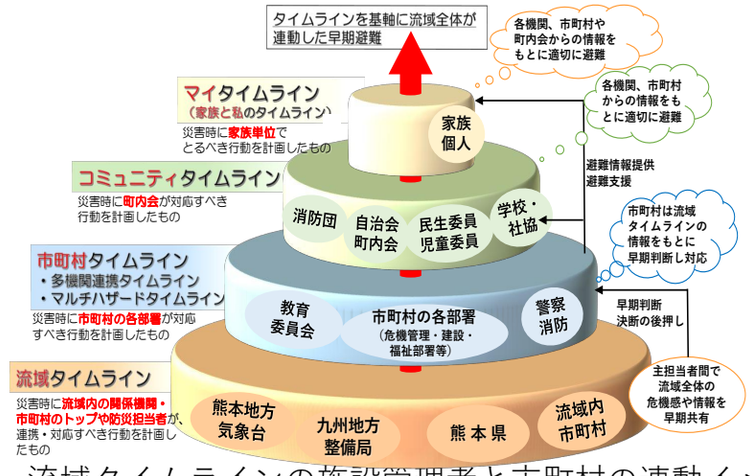
「球磨川流域タイムライン運用会議」

〇注意報・警報発表より早い段階において流域全体で危機感を共有し、各自治体や各機関が早めに防災行動へ着手することを目的として、令和3年5月19日より「球磨川流域タイムライン運用会議」を開催している。
〇会議では、熊本地方気象台や、タイムラインアドバイザー（東京大学　松尾一郎客員教授、元気象庁予報課長　村中　明アドバイザー等）より、大雨の予測や気象の見立てなど情報提供が行われ、自治体からは、「出水毎に気象台やアドバイザーによる降雨の見立てを受けて、早期の避難所開設の判断の後押しになった」との意見があった。

球磨川流域タイムライン運用会議の様子

「球磨川流域タイムラインの今後の展開」

〇球磨川流域では、流域全体の連動した避難行動、各自治体の早期判断・決断の後押し等を目的に、球磨川本川、支川、土砂災害を対象とした「流域タイムライン」をR4出水期前に作成し、出水期に試行運用した。試行運用結果をもとに適宜見直しを行っており、今後も引き続き実施予定。



流域タイムラインの施設管理者と市町村の連動イメージ

「令和8年度 球磨川流域タイムライン（深化）検討会」

〇令和4年5月16日に、球磨川流域に係る国、県及び流域市町村が一堂に会し、「令和4年度球磨川流域タイムライン発足式」「令和4年度 第1回球磨川流域タイムライン検討会」を開催し、「球磨川　流域タイムライン」の取組を開始。
〇令和5年度では、流域タイムラインの深化を行うため、8月1日に「球磨川流域タイムライン検討会」、令和6年1月11日には、「球磨川流域タイムライン深化検討会」を開催し、参加機関等が更に連携した取り組みを進め、防災対応における課題解決を図った。
〇令和6年度は、5月29日に「第一回 球磨川流域タイムライン検討会」を開催し、出水期前に参加機関が集まり、災害への危機感の意識合わせを実施。9月18日には、「第二回 球磨川流域タイムライン（深化）検討会」を開催し、明るいうちからの早期避難のための取組みについて再確認した。
〇令和7年度は、5月21日に「第一回 球磨川流域タイムライン（深化）検討会」を開催。令和8年3月2日には、「第二回 球磨川流域タイムライン（深化）検討会」を開催。令和6年度と同様、災害に対する意識合わせや早期避難のための取組み等について再確認を行った。
〇令和8年度は、5月14日に「第一回 球磨川流域タイムライン（深化）検討会」を開催。タイムラインの再確認に加え、令和7年8月豪雨についての振り返りを行った。

令和８年度検討会開催状況

【目的】
あらゆるハザードの発生前から危機感を高め、流域住民の命を守るため、国・県・市町村が気象情報や防災情報を共有し、災害への危機感の意識を合わせ、早期避難の呼びかけなど、地域の防災・減災力の強化に資すること

【参加機関】
八代市、人吉市、芦北町、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、九州地方整備局　水災害予報センター、八代河川国道事務所、川辺川ダム砂防事務所、熊本地方気象台、熊本県

令和７年度検討会開催状況

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】
（　これまでの取り組み　）

○防災学習支援事業を行っているNPO防災WESTと協働で体験型の防災学習を実施。
○浸水深30cm～50cmあれば、容易に逃げることが出来ないことを実体験、洪水時に避難をするために必要な「早期避難」の必要性を学習。
○大雨、洪水時にはどう行動したらよいか、参加した生徒、教師へ呼びかけることで、家族で避難行動について改めて考える場をつくり、早めの対策・準備につなげる。
○生徒や教職員からは積極的な意見や次回の授業計画に関する提案が多く寄せられ、学校全体で防災活動への関心が一層高まった。

【学習内容】
①防災WEST説明
- 水害時に自発的な行動をとり、命を守るためのグループワーク
- 総評・まとめ
- ハザードマップについて
- マイタイムラインの作成
- 発表・まとめ

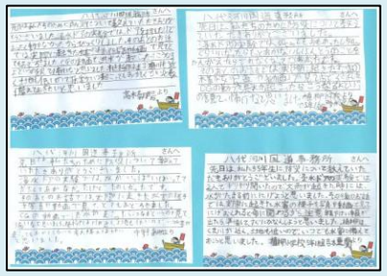
②八代河川国道事務所説明
- 体験実験＆講義
- 防災教室（座学）
- 浸水ドア実験

（令和7年9月12日）八代市立龍峯小学校　1～6年生　計55人

マイタイムラインの作成

発表

（参加した生徒の感想）
・浸水ドアでは、少しの水の量で開けるのが難しくなってしまうことを初めて知りました。
・写真やCG動画で逃げ遅れると命に関わる事を学び、警報など出たらすぐに避難したいと思いました。



（令和7年6月20日）錦町立西小学校
5年生　計43人

防災学習

（令和6年7月16日）八代市立郡築小学校
5年生　計31人

浸水ドア体験

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況【ソフト対策の取組状況】
～水害リスクの周知～

■令和２年７月豪雨で浸水した深さを示す「洪水標識」の設置（国、人吉市、八代市、球磨村）

〇令和２年７月豪雨時の浸水深を示す「洪水標識」を生活空間である「まちなか」に表示することで、日頃から水防災への意識を高め、次世代に伝える記録として残しつつ、洪水時に命を守るための住民の避難行動の目安とすることで、被害を最小限にとどめることを目的に設置。今後も、順次被災箇所に設置を予定。

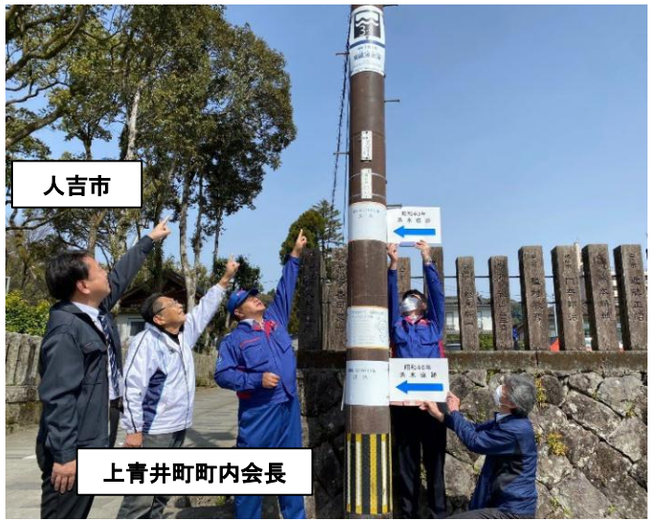
令和３～７年度の設置箇所数

令和３年度設置　　計21箇所
球磨村渡地区（R4.10.24）2箇所
人吉市上青井町（R5.3.14）1箇所
人吉市中青井町（R5.3.14）4箇所
人吉市駒井田町（R5.3.14）8箇所
人吉市城本町（R6.3.25・28）4箇所
人吉市瓦屋町（R6.3.25）1箇所
人吉市相良町（R6.3.25・28）5箇所
人吉市上・下新町（R6.3.25・28）4箇所
人吉市下原田（R6.3.26）1箇所
人吉市下林町（R6.3.26）2箇所
人吉市下薩摩瀬町（R6.3.26）1箇所
人吉市下戸越町（R6.3.26）1箇所
球磨村神瀬地区（R6.3.26）1箇所
球磨村渡地区（R6.3.26）2箇所
球磨村一勝地地区（R6.3.28）2箇所
球磨村那良口地区（R8.3.31）1箇所

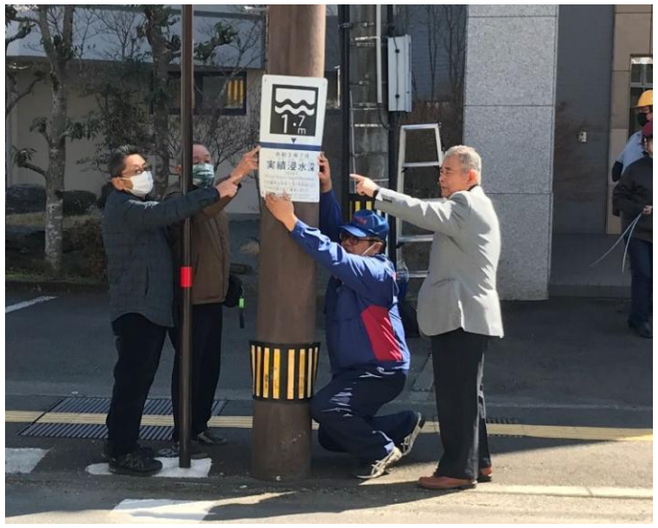
計　61箇所

洪水標識

人吉市上青井町と協働で設置（R4.3.25）



人吉市上青井、中青井、駒井田町と協働で設置（R5.3.14）



人吉市相良町と協働で設置（R6.3.28）

球磨村一勝地地区と協働で設置（R6.3.28）

球磨川水系緊急治水対策プロジェクト【円滑な事業進捗や住民理解促進に向けて】
～流域治水への理解促進や住民参加のための説明会～

令和2年7月豪雨以降、八代河川国道事務所では円滑な事業進捗や住民の方への事業の理解促進に向け、事業に関する住民説明会や先行工事・AR技術を活用した現地見学会を実施している。
また、球磨川水系緊急治水対策プロジェクトに関連して、各自治体が開催する事業説明会やまちづくり懇談会に積極的に参加することで、地域の意見をお聴きして事業に反映し、円滑な事業進捗につなげている。
更に幅広い年代に球磨川流域への理解、防災意識を醸成して頂くための取り組みとして、流域の学校を対象に河川環境教育・防災教育に取り組んでいる。

各説明会等実施状況（令和８年９月末時点）

■流域治水に関する説明会・懇談会（R3.2月～）

◇開催・参加回数　　４９０回
◇のべ参加人数　　７，６１９名

年度毎の開催状況
令和2年度：計17回（のべ777名）参加
令和3年度：計113回（のべ3675名）参加
令和4年度：計98回（のべ1132名）参加
令和5年度：計101回（のべ840名）参加
令和6年度：計92回（のべ707名）参加
令和7年度：計50回（のべ401名）参加
令和8年度：計19回（のべ96名）参加（※令和８年９月末時点）

自治体毎内訳
八代市　240回　　芦北町　44回　　人吉市　35回
球磨村　124回　　その他　47回

■河川環境教育・防災教育（R2.7月～）

◇開催回数　　９４回
◇のべ参加人数　５，２７６名

年度毎の開催状況
令和2年度：計 4回開催　のべ118名参加
令和3年度：計13回開催　のべ509名参加
令和4年度：計 8回開催　のべ282名参加
令和5年度：計24回開催　のべ2,034名参加
令和6年度：計20回開催　のべ966名参加
令和7年度：計21回開催　のべ1,166名参加
令和8年度：計 4回開催　のべ201人参加（※令和８年９月末時点）

最近の開催状況
（防災教育）　令和8年　6月10日　八代市鏡小学校
　　令和8年　7月　3日　八代市有佐小学校
（環境教育）　令和7年　9月26日　麦島小学校　ごみパトロール

【先行盛土・ARの様子（球磨村神瀬地区）】

※ＡＲによる疑似体験

ARを用いた宅地かさ上げイメージ

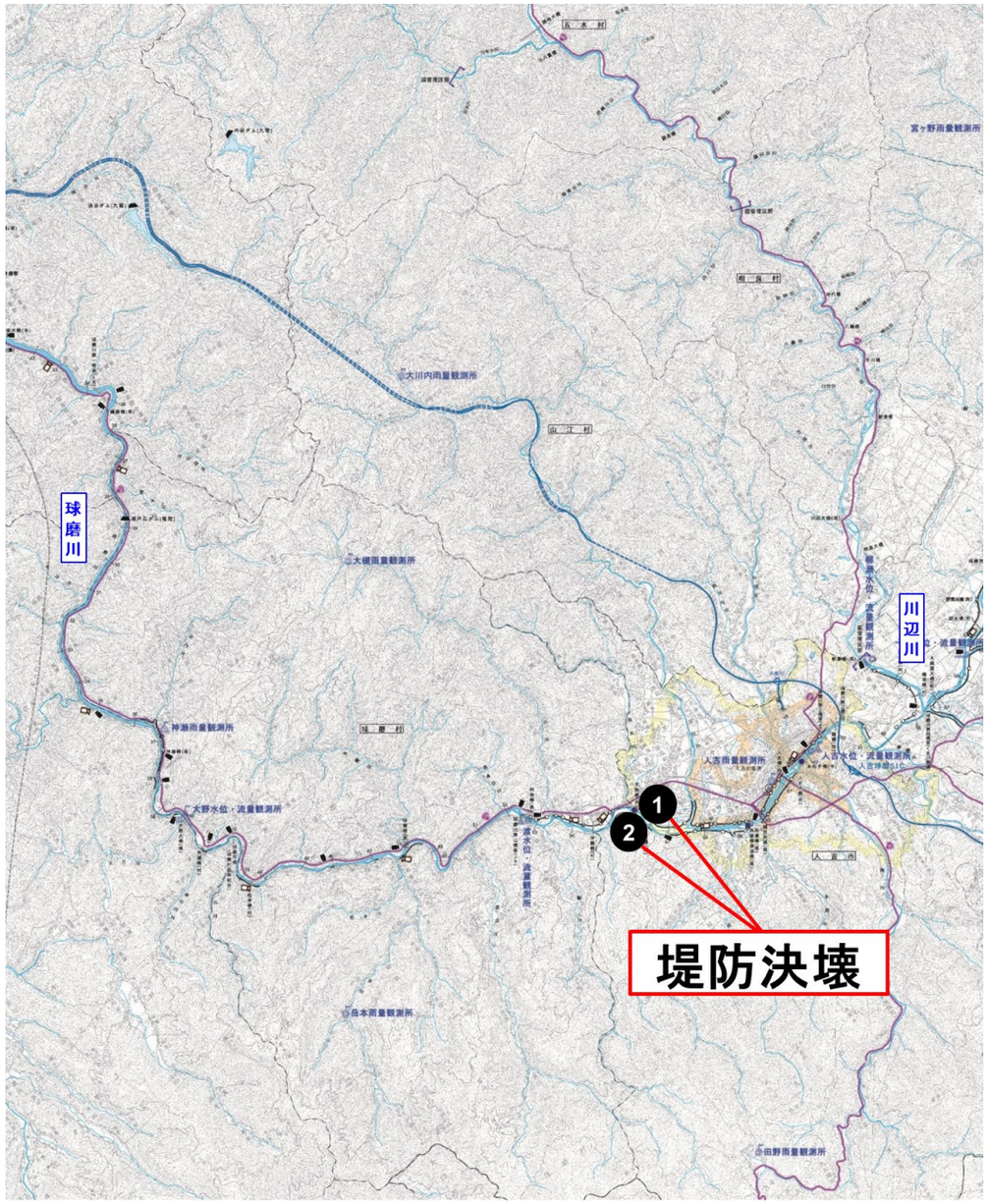
【水生生物調査（環境教育）】

【現場説明（防災教育）】

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜災害復旧＞

○国管理区間では、堤防決壊2箇所の災害復旧工事を実施し、令和3年5月末までに本復旧を完了した。

【位置図】



●　:被災箇所（本復旧完成）

❶堤防決壊箇所（球磨川右岸56.4k付近）

❷堤防決壊箇所（球磨川左岸55.0k付近）

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜災害復旧＞

〇令和2年7月豪雨により被災した、護岸等の被災29箇所について、令和4年出水期までにすべて完了。

【位置図】

【被災状況】

【復旧完了】

【被災状況】

【復旧完了】

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況＜権限代行区間＞

〇権限代行9河川における護岸等の被災箇所について、約140箇所の全ての復旧を完了し、令和5年5月末に熊本県へ引き渡しを完了。